

たんけん!われらのまち～世界に目を向けよう～

氏名：関本 華佳

学校名：つくば市立春日学園義務教育学校

担当教科：全教科

実践教科：つくばスタイル科（総合）

時間数：11 時間

対象学年：3 年

人数：39 名

【実施概要】

【1】単元のテーマ・目標（評価の観点を意識して設定）：

タンザニアのお気に入りの写真を6年生に伝える活動を通して、世界にはさまざまな国があり、そこでは日本とは異なる文化や生活があることを知り、広い視野をもって他の国に興味をもてるようにする。

【2】単元の評価基準	個別の知識・技能	世界の国々の衣食住、文化、などを知り日本や他の国と比べることができる。
	思考力・判断力・表現力	タンザニア観光大使になって、タンザニアのよさを6年生に伝えることができる。
	学びに向かう力	世界には様々な国があり、それぞれの暮らしがあることを知り、それらを将来へどのようにつなげていくかを考えることができる。

【3】単元設定の理由

（児童観、教材観、指導観）

（児童観）

児童の実態（計38名）

質問項目	主な解答
①知っている外国の国を5つ書きましょう。	アメリカ、中国、フランス、オーストラリア、ドイツ、ロシア、スペイン、その他多数
②知っているアフリカの国を書きましょう。	南アフリカ共和国、エジプト、モロッコ
③2020年に日本で行われる世界のスポーツの祭典は？	東京オリンピック 19人

アンケート結果から分かることは、知っている外国はたくさん出てきたが、知っているアフリカの国となると解答数がとても少なかった。また、東京オリンピックの認知度はクラスの半数であった。

そこでタンザニアの基本情報をしっかりおさえ、6年生との交流活動を通しながら、タンザニアの国の魅力に気づかせたい。また、4年に1度の祭典が、日本（東京）で行われるという希少な時間であることを押さえながら、オリンピックへの招待状を書く体験を取り入れた興味・関心を高める学習展開を図っていきたい。

（教材観）

本単元はつくば市が設定しているつくばスタイル科の単元をもとにして、さらに世界に目を向けて行う。本年度 JICA の教師海外研修に参加した機会を生かし、現地の子どもたちに、東京オリンピック・パラリンピックの招待状を実際に届けるという場を設定

することができる。招待状を作成する中で、自分の住んでいる地域や日本のことをより深く知り、それを招待状に書いて発信する活動を通して、世界に目を向け広い視野をもって考えられる児童の育成を目指していきたい。

招待状を書く際には、事前に社会科で日本の歴史を学習している6年生に日本の良さを伝えてもらう機会を設け、そのことをもとに作成していきたい。そして、3年生が6年生にタンザニアについて学習したことを伝える異学年交流を行う。また、タンザニアについて学習するだけでなく、本校の特色を活かし、3年生がタンザニア観光大使に扮して、タンザニアのよさを6年生に伝える活動を設定することで、相手意識をもって取り組めるようにする。

(指導観) 論理的思考力・人と豊かにかかわる力を高めるための手立て

① 思考スキルの活用

児童にとってアフリカのタンザニアは、日本とはあまり関わりのない国というイメージが強い。しかし、タンザニアクイズを行い、日本とタンザニアの共通していること、違っていることをベン図にまとめることで、日本と同じこともあることに気づきタンザニアを身近に感じられるようにする。本校では様々な国籍の児童がクラスにいることも珍しくない。世界ではグローバル化が進んでおり、その中を生きていく児童が、タンザニアについて学習することを通して、国籍にとらわれず人と豊かにかかわる力を養ってほしいようにしたい。

② 学びの自覚化を図る工夫

単元の終盤において、「タンザニア観光大使になってどんなことを感じましたか。」「クラスに外国の友だちがいたらどうしますか。」「この学習を通して何か感じたことはありますか。」「外国に行ってみたいですか?」などを問いかけ、授業の前後における考えの変化について振り返りを行う。振り返りを行う中で、多様な意見を取り入れることで、新しい考えが生まれることに気付けるようにしたい。

【4】展開計画 (全 11 時間)

時	テーマ・ねらい	活動・内容	使用教材
1	単元の見通しをもつ。	タンザニアの子どもたちに日本の良さを伝えて、東京オリンピック・パラリンピックの招待状を書くという単元の見通しをもつ。	
2・3	タンザニアの基本的な情報を知る。	インターネットなどを活用し、タンザニアクイズに答えながらタンザニアの基本情報を知る。	・「わたしたちの地球と未来タンザニア連合共和国」(愛知県国際交流協会) ・ワークシート
4・5	6年生から日本の良さを教えてもらう。	6年生との交流学习で、日本の良さを6年生に教えてもらう。	・ワークシート
6	タンザニアの子どもたちへ招待状を書く。	調べたことや6年生に教えてもらったことをもとに、タンザニアの子どもたちに日本の良さを伝えられるような招待状を書く。	・招待状(新聞紙)
7	タンザニアの子どもたちへ招待状を渡す。	タンザニアの子どもたちに作った招待状を渡す。(教師)	・作成した招待状 ・日本の子どもたちの写真

	<p>Aグループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校について ・食べ物について ・青年海外協力隊について <p>Bグループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校について ・食べ物について ・タンザニアの発見について <p>Cグループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校について ・食べ物について ・青年海外協力隊に <p>4 教師がタンザニア以外の他の国について紹介し、他の国にも興味をもてるようにする。(一斉)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発表時には実物を見せたり、ビックパットに写真を映したりし、発表する意欲を高め、見ている児童にも分かりやすい発表にする。 ・6年生に発表を聞く観点を示し、質問や感想を言いやすいようにする。 ・6年生には、タンザニアのよさがわかり、行ってみたいと思えるグループに「いいねシール」をはってもら。また、6年生からの質問や感想をもらえるようにする。 ・教師が行ったことのある外国について紹介し世界にはさまざまな国があり、そこでは文化や生活があることを知り、広い視野をもって他の国に興味をもてるようにする。 ・電子黒板に写真や動画を映して紹介する。 ・教師の考えの押しつけにならないように配慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビックパット ・パワーポイント 				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="322 1108 746 1198">期待する児童の記述・発言例 〔評価基準〕</th> <th data-bbox="746 1108 1098 1198">評価規準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="322 1198 746 1556">わたしは、タンザニア観光大使になって6年生にタンザニアの食べ物のよさを伝えました。理由を付け加えて発表できたので、6年生にたくさん「いいねシール」や感想を言ってもらえてうれしかったです。タンザニアのことをもっと知りたくなりました。他の国についても知りたくなりました。</td> <td data-bbox="746 1198 1098 1556">タンザニア観光大使になって、6年生にタンザニアのよさを伝えている。(ワークシート, 発言)</td> </tr> </tbody> </table>	期待する児童の記述・発言例 〔評価基準〕	評価規準	わたしは、タンザニア観光大使になって6年生にタンザニアの食べ物のよさを伝えました。理由を付け加えて発表できたので、6年生にたくさん「いいねシール」や感想を言ってもらえてうれしかったです。タンザニアのことをもっと知りたくなりました。他の国についても知りたくなりました。	タンザニア観光大使になって、6年生にタンザニアのよさを伝えている。(ワークシート, 発言)		
期待する児童の記述・発言例 〔評価基準〕	評価規準						
わたしは、タンザニア観光大使になって6年生にタンザニアの食べ物のよさを伝えました。理由を付け加えて発表できたので、6年生にたくさん「いいねシール」や感想を言ってもらえてうれしかったです。タンザニアのことをもっと知りたくなりました。他の国についても知りたくなりました。	タンザニア観光大使になって、6年生にタンザニアのよさを伝えている。(ワークシート, 発言)						
(35分)まとめ	<p>5. ルーブリックを用いて自己評価を行い、学習の振り返りをする。</p> <p>S…自分がよいと思った理由を説明しながらタンザニアのよさを伝えることができる。</p> <p>A…タンザニアのよさを伝えることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の変容に自覚することができるように「タンザニア観光大使になって、6年生にタンザニアのよさを伝えるために工夫したことや苦労したことは何ですか。」と発問をし、振り返りの充実を図る。 					

【授業実践の様子】

〈発表の様子〉



6年生に向けて写真をビックパットに映して発表しました。
発表内容は暗記をして、原稿を読むのではなく話して伝えることを意識しました。また、暗記をして身振り手振りをいれて行いました。

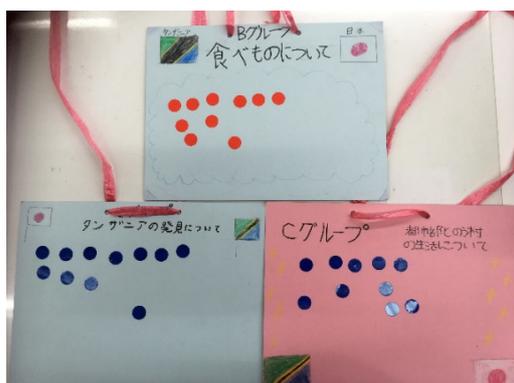
〈カンガやティンガティンガを実際に使って発表しました。〉



【6】 本時の振り返り

- ・事前に「タンザニアコーナー」を教室前に設置したことは、実際のものに触れさせる良い機会となった。そのことが発表の際の説明を深化させる手助けにつながり、とても有効であった。
- ・児童が「6年生にタンザニアを知ってもらいたい。」という願いを込めながら、国の情報収集を行ったり、タンザニア観光大使に扮したりして、タンザニアをアピールする活動を行ったことは、学習への思いをより高めるきっかけとなり、とても有効であった。
- ・6年生が「タンザニアに行ってみよう。」と思ってもらえた時には、3年生に「いいねシール」がもらえるようにしたところ、それぞれの班に多くのシールが貼られた。その手立てが、児童一人一人の意欲向上につながり、とても有効であった。

〈いいねシール〉



〈タンザニアコーナー〉



【7】単元を通した児童生徒の反応/変化

〈ワークシートからの振り返りから〉

○タンザニア観光大使になって、6年生にタンザニアのよさを伝えるために工夫したことは何ですか？

- ・理由をどう書いたら6年生が分かるかどうか考えて書きました。
- ・タンザニアのことを6年生に伝えるために、タンザニアの良いところをたくさん調べてがんばった。日本とタンザニアの違いとことと同じところをたくさん見つけられて、タンザニア観光大使になれたと思う。
- ・6年生がタンザニアに行きたいと言ってくれるようにがんばって発表原稿を書きました。タンザニアのことが思い浮かぶように身振り手振りをやりながら発表することが難しかったけれどがんばりました。
- ・どうしたら6年生に「行ってみたい」と思ってもらえるかなと考えながら発表原稿を考えました。
- ・実際にカンガを着て6年生に発表することができた。
- ・6年生が知らないと思うものを探して発表の中に入れました。
- ・友だちや先生のアドバイスをもとに、「自分の言葉」にして伝えました。
- ・発表原稿は、先生に言われたことをそのまま書かないで言葉を考えるのにとっても時間がかかって苦労したけれど、一番気持ちのいい発表ができた。

【途上国・異文化への意識の変容について】

(授業前)

- ・タンザニアという名前すら知らなかった。(アメリカやロシアのことは少し知っていたけれど)
- ・タンザニアはものすごく遠いと思っていた。
- ・みんな日本と同じような国だと思っていた。
- ・日本とは全然ちがう人たちだと思っていた。
- ・アフリカは農村ばかりだと思った。
- ・日本に住んでいる人は幸せで、途上国の人のはかわいそうだなとテレビを見ながら思っていた。
- ・途上国の人たちの生活が悪く、死んでしまう人が多いと思っていた。

(授業後)

- ・外国語をたくさん勉強したい。
- ・外国について調べるようになった。
- ・外国にもいろいろな文化があることを知った。
- ・外国に行きたいと思った。
- ・外国で働きたいと思った。
- ・外国人の人とお話してみたいと思った。
- ・これからもっと世界のことを知りたいと思った。
- ・外国の人と友だちになりたいと思った。
- ・タンザニアには日本の物もあると分かった。
- ・先生がタンザニアに行ってから外国は思ったよりいいところだと思った。外国がとても好きになった。
- ・タンザニアのことを知る前は外交のことを深く考えたことがなかったけれど、タンザニアのことを知ってから外国人と日本人は近い存在なんだと思う。
- ・外国は少し怖い国だと思っていたけれど、今は行ってみたいくらいおもしろい国だとわかった。
- ・外国にはその国だけのいい所がたくさんあるから調べてみたいと思った。

【自己評価】

<p>1. 苦労した点</p>	<p>最初に「先生、タンザニアに行ってくるよ」と伝えた時に、児童にとって身近な国ではないので、これから行う学習に対しての意欲づけが苦労した。 児童が、6年生にタンザニア観光大使として発表をする際には、教師の意見や考えや思いを押しつけすぎないように気をつけた。3年生の児童が写真や教師の話聞いて、素直に何を感じ、6年生に何を伝えたいのかを引き出すことのきっかけづくりに悩んだ。</p>
<p>2. 改善点</p>	<p>子どもたちの意欲を高めるために、タンザニア観光大使の名札をつけて発表したり、タンザニアコーナーを設置したり、いいねシールを6年生に向けたりと工夫することができた。しかし、もっと意欲的に発表できるような工夫が必要だったと感じた。他の先生方の授業を参観させていただき、パスポートを作ったり、スワヒリ語であいさつをしたり、タンザニア国家を歌っていたりと、3年生では難しいかなと思ったことにも挑戦してみて、意欲付けができればよかったと感じている。</p>
<p>3. 成果が出た点</p>	<p>今まで自分の狭いコミュニティでしか物事を考えていなかった児童が、ワークシートにもあるように「英語を勉強してみたい。」「海外に行ってみたい。」と思えるようになった。少しではあるが、広い視野をもって物事を考えるきっかけを与えることができたのではないかと思う。児童にとって、今後益々国籍や生まれ育った環境の違う人たちと同じ教室で学習したり、働いたりする機会が増えてくる。その時に、この学習で得たことを活かして生活していくことこそが、成果なのではないか考える。</p>
<p>4. 備考（授業者による自由記述）</p>	<p>3年生の児童に国際理解教育というと、「難題なのでは？」と思っただが、6年生との異学年交流活動を通すことで、児童が、相手や目的を意識しながら楽しく意欲的に学習することができた。もっと、日本のいい所や自分というものを理解して、国際理解をさらに深めていけるように助言していきたい。</p>

添付資料：

【資料 1】

タンザニアクイズ～これをクリアしたらタンザニアはかせ～

()番 名前()

①学校はどれくらい通うの？
小学校は()年級、中学校(Oレベル)は()年級、高校(ALレベル)は()年級、大学()年級いじょう。..

②何歳で小学校に入りますか？
()才 同じ学年のみんなが同じ年級で【ある・ない】..

③学校に通うのにお金はかりますか？
前は【かかる・かからない】今は【かかる・かからない】..

④しんきゅうするためにしけんはありますか？
【ある・ない】
もし、あった場合いつですか？..

⑤1クラスの人数は？
男()人～()人、

⑥じゅうぎょうの期間は？
()時～()時まで、

⑦お昼休みしていることは？
..

⑧どんな科目をひんぎょうしていますか？
全部で()科目、
たとえば.....

⑨学年はいつからはじまりますか？
()月～()月
長い休みは 4月前後の()..
6月～7月の()..
9月の()..
12月の()..

【資料 2】

◎比較する

日にち 月 日 年 組() なまえ

課題 「日本」と「タンザニア」をくらべよう。

ベン図

ベン図

ことなる2つのもの「同じこと（共通点）」を円の重なった部分に、「ちがうこと（相違点）」を重ならない部分に書き込むことで、ことなる2つのものを比較する。

じこひょうか S A B

【資料 3】

タンザニア観光大使になってタンザニアのいいところを6年生に伝えよう1

()番 名前()

●書くひょうじ

氏名が.....

●伝えたいこと
(例えば食べ物、学校、住むところ、着ているもの、子どもたちの笑顔、せいりせいとんのこと、ボランティヤで働いている人のことなど)。
○伝えたいことを決める書きのポイント。
・おどろいたこと、もっと知りたいたいと思ったこと。
・6年生に知ってもらいたいこと。
・日本にしていること。
・日本とちがうこと ..

●どんなことを伝えたいですか？

●6年生への伝え方
グループごとにわかれて、写真や動画などをもちに伝えます。
6年生がタンザニアに行きたい！と思えたら、「いいね！」シールがもらえます。
たくさんもらえるようにグループで協力して、発表しよう！

【資料 4】

タンザニア観光大使になってタンザニアのいいところを6年生に伝えよう2

()番 名前()

●メンバー（リーダー◎）

名前	名前
名前	名前
名前	名前

●伝えたいこと
・自分が良いと思った理由を説明しながらタンザニアの良さを伝えることができるようにしよう。

●発表のやり方（プレゼンのように、紙芝居、実演があるなど）

●発表の流れ やく3分間

じゃんぼん	どんなこと	たんどう
①		
②		
③		
④		
⑤		
⑥		
⑦		

メモ

【資料 5】

タンザニア観光大使になってタンザニアのいいところを6年生に伝えよう3

()番 名前()

●発表ばんこう
全がらわたしがしよふかいまろことば(.....)入です。
しよふかいまろ理由は(.....)だからです。

【資料 6】

タンザニア観光大使になってタンザニアのいいところを6年生に伝えよう4

()番 名前()

○自分以外のグループの発表を聞いて

- ・はじめてしたこと、おどろいたこと、
- ・日本とくらべて、同じこと・ちがうこと

グループ	
グループ	

○ふり返り

- ・「タンザニア観光大使になって、6年生にタンザニアのよさを伝えるために工夫したことや苦労したことは何ですか。」

自己ひょうか S・A

【資料 7】

タンザニア観光大使になろう。
～他の国も知ろう～

()番 名前()

タンザニアのことを勉強する前は外国や外国の文化や人についてどう思っていましたか？

タンザニアや他の外国について勉強した後と前では、外国や外国の文化や人について何がかわったことはありますか？